

父親は平成25年2月 母親は令和3年1月に天国社で見送ることができました

1. 「母が亡くなった」と連絡を受けたとき、葬儀社が決定していたことは、私の心をかなり落ち着かせました。「旅たちの場」をあらかじめ決めておくことは、重要なことだと実感しました。
2. 葬儀にかかわる事柄はわからないことが多く、しかもすぐに決断しなければならないことがあります。担当者から決めなければならない事柄を提示され、丁寧に教えてもらいました。告別式から初七日までの段取りは、担当者と相談しながら進めることができました。段取り・流れを理解できると慌てずに通夜・告別式等に臨むことができました。
3. 葬儀は、心力・体力が奪われます。  
リラックスできる施設（飲料コーナー・ベット・浴室など）づくりと丁寧な対応は、告別式に臨んだ者の心身の癒しとなっていました。お陰様で心力・体力を維持して、葬儀に臨むことができました。
4. コロナ禍の世の中で、これまでの葬儀を見直し、「お茶サービス・手洗い」の停止など感染の危険がある場面を減らそうとする取り組みが見られました。  
感染防止対策がみられると、参列者も安心できます。

また、ごみの分別回収などSDGsに沿った取り組みも見られ、社会的責任を果たそうとする企業理念が垣間見られました。

コロナ禍の時期、親族のみでの見送りとなりましたが、心温まる葬儀になりました。  
天国にお願いして良かったと思っています。

宮崎市 恒久  
湯浅 和人